



スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX」



～DX や脱炭素(カーボンニュートラル)等の分野でコロナ時代の社会課題解決に挑戦～

YOXO アクセラレータープログラム 2021 12 者を採択

横浜市は、『イノベーション都市・横浜』を旗印に、スタートアップ成長支援拠点『YOXO BOX(よくぞボックス)』を中核として、with/after コロナに向けた社会課題解決に挑戦するスタートアップを創出します。当プログラムは、スタートアップの成長・発展を支援するアクセラレータープログラムです。

今年度は、DX や脱炭素(カーボンニュートラル)、エネルギー、ヘルスケア、オンラインサービス等の分野でコロナ時代の社会課題解決に挑戦するスタートアップを支援します。このたび、支援を実施する12 者を採択しました。今後は、デジタル統括本部や温暖化対策統括本部・ヨコハマ SDGs デザインセンターとも連携し、支援をスタートします。

● YOXO アクセラレータープログラムの内容 ●

スタートアップ支援の専門家によるメンタリングや、パートナー企業（大企業などの事業会社）・支援者との連携や協業機会の提供、専門家によるセミナー、スタートアップのネットワーク構築など多様なメニューを用意し、スタートアップの成長・発展を支援します。

●参加対象

- ・起業5年以内程度で、横浜市内に本店または拠点等を立地しているスタートアップ
- ・3年以内の起業を検討している横浜市在住または市内の学校に通学する学生

※詳細はこちらのサイトをご覧ください。 <https://yoxo-accelerator.com/>

● スケジュール(予定) ●

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 募集期間 →			← プログラム期間 (7か月) →						
● プログラム説明会			◎伴走フォロー(伴走メンタリング) ◎スポットメンタリング ◎マッチング及びセミナーセッション ◎個別ビジネスマッチング ◎交流会(支援者やYOXO関係者等)					●	●
								● ● 成果報告会(デモデイ) ※2回開催 (横浜会場・東京会場)	

● YOXO アクセラレータープログラム 2021 支援企業 ●

五十音順

	企業名/代表者	事業概要
1	atocos 株式会社 代表取締役社長：塚田 真之介 (横浜市西区)	 スマホアプリに特化した CXM (ユーザーの体験の調査・改善プラットフォーム) 「atocos CXM for App」の展開。顧客情報を推計し、ロイヤリティ向上施策の経済性を可視化
2	株式会社 Aventino 代表取締役：金子 章子 (横浜市港北区)	 女性の薄毛のセルフケアを支援するオンラインサービス「Broccoli」の展開。定期的な質問回答や髪全体の画像撮影などにより、個別提案(外用剤・栄養補助など)を受ける。
3	株式会社エナ・ストーン 代表取締役：明道 保衛 (横浜市港北区)	 IoT・AI 技術でエネルギー使用を効率化する EMS(エネルギー管理システム)の提供。併せて、脱炭素推進に向けて、再生可能エネルギーだけで電力供給を行うマイクログリッドの制御システムも開発

裏面あり

	企業名/代表者	事業概要
4	株式会社 StockBase(学生) 代表取締役：関 芳実 (横浜市中区)	 廃棄を削減し、循環型社会を実現する物品有効活用のマッチングサービス「StockBase」の展開。活用可能な物品（特に災害備蓄食）を抱える企業と寄付先の最適なマッチングを実現
5	株式会社 Smart Craft 代表取締役：浮部 史也 (東京都渋谷区・横浜市中区)	 製造業向け・生産現場におけるデータ一元管理 SaaS「Smart Craft」の開発・提供。生産日報のデジタル化や生産実績のデータ分析を自動化し、生産現場の DX 推進に寄与
6	Social Healthcare Design 株式会社 代表取締役：亀ヶ谷 正信 (横浜市中区)	 従業員の Well-being(幸福)を見える化し、動機付けを自動化するためのシステムを構築・展開。独自のセミナー、アプリ、サポートツールを用いて従業員のパフォーマンス向上をサポート
7	タクトピクセル株式会社 代表取締役：玉城 哲平 (横浜市中区)	 目視確認作業を効率化するクラウドサービス型オンライン校正検版ツール「prooffrog」の展開。デザイン・文書の校正作業をデジタル化し、目視確認作業の効率化を実現
8	Peaceful Morning 株式会社 代表取締役：藤澤 専之介 (横浜市中区)	 「すべての社員に IT の専門知識を」をテーマに RPA 開発者を支援する「Robo Runner」の展開。チャットサポートやメンタリング等で、RPA 開発者を育成したい企業を支援
9	ボトルト株式会社 代表取締役：飯田 百合子 (横浜市西区)	 ドリンクの「中身だけ」を「買いたいユーザー」と「売りたい飲食店」をマッチングする、マイボトル飲料専用事前決済プラットフォーム「BOTLTO」の展開
10	株式会社 MeSHLIFE 代表取締役：芦沢 吉紀 (横浜市西区)	 アパレル業界のサプライチェーンにおけるトレーサビリティを可視化する「chain」の開発。ブロックチェーン技術で、製品の製造経路を辿り、工場での様々な課題解決やサステナブル社会の実現を目指す。
11	株式会社リサ・サーナ 代表取締役：上田 暢子 (横浜市都筑区)	 女性のがん患者向け生活支援 WEB サービス。女性がんサバイバー向けコミュニティ型 SNS「PeerRing」、患者・家族のためのレシピサイト「kama+aid」を運営
12	LOOVIC 株式会社 代表取締役：山中 享 (東京都中央区・横浜市港北区)	 スマートシティでの「迷う・探す」を無くすマイクロモビリティサービス「LOOVIC」の展開。地図アプリと連動させたウェアラブルデバイスが、目的地まで手を引くように誘導

〈プログラムに関するお問合せ先〉

株式会社アドライト TEL03-6823-1270 (平日 10 時-19 時)

※本プログラムは、横浜市経済局の事業の一環として実施するものであり、関内ベンチャー企業成長支援事業共同企業体のメンバーである株式会社アドライトが企画・運営するプログラムです。

イノベーション都市・横浜／YOXOBOX 事業の取組

横浜市は、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。これまでに、みなとみらい地区の研究開発拠点をはじめ、様々な民間企業や、大学等によりイノベーション人材の交流機会が形成されています。

この取組を更に大きなムーブメントとしていくため、象徴となるロゴマーク YOXO (よくぞ) を決定し、関内にスタートアップ成長支援拠点として、「YOXO BOX (よくぞボックス)」を設置。YOXO BOX では、ビジネスモデルのブラッシュアップや事業会社とのマッチング、投資家等による資金調達などスタートアップの成長・発展に向けて、各種プログラムを実施しています。

YOXO
よ く ぞ
YOKOHAMA CROSS OVER

横浜をクロスオーバーする。
イノベーションが起る。

創業から100周年、
創業は、メディア、エンターテインメント、
製造業のハイテク企業、
異分野での交流から生まれました。

そして今、
創業は、創業中企業を通じて、
新たなクロスオーバーを創出する
イノベーション都市へ進出する。
YOXO BOX でのイノベーション
事業への挑戦をともに進めたい。



お問合せ先

経済局 新産業創造課長

高木 秀昭

Tel 045-671-3913

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。